

## 消えゆく戦争の記憶、教訓を後世に

### ドキュメンタリーやドラマ・ラジオ・デジタルで展開

5月に開催されたG7サミットでは、各国の首脳が被爆地・広島を訪れ、世界中で平和への機運が高まりました。一方、ウクライナへの軍事侵攻を止めないロシアは、核戦力の増強を宣言するなど、緊張が続いています。

そうしたなか、SNSなどを通じて、若い世代も戦争について考える機会がこれまで以上に広がっています。NHKは、太平洋戦争終戦から78年にあたる8月、ドキュメンタリーやドラマ、ラジオ、デジタルといったさまざまなアプローチでこれからの時代を担う世代をはじめとした視聴者のみなさまに、「戦争と平和」について改めて考えていただく番組やコンテンツをお届けします。

#### 【主な番組】

※印は仮タイトル

ドキュメンタリー	NHK スペシャル 命沈む海“最期”の記録～最新技術で挑む マリアナ沖海底調査～※	<b>G</b> 8月5日(土)午後10時～10時49分
ドキュメンタリー	NHK スペシャル 原爆 ウラン争奪戦 1938-2023 知られざる攻防※	<b>G</b> 8月6日(日)午後9時～9時49分
ドキュメンタリー	NHK スペシャル 発見 昭和天皇御進講メモ～太平洋戦争 極秘・外務省情報～※	<b>G</b> 8月7日(月)午後10時～10時59分
ドキュメンタリー	NHK スペシャル 新・ドキュメント太平洋戦争 1943 日米 憎しみの連鎖 前編※ 1943 日米 憎しみの連鎖 後編※	<b>G</b> 8月12日(土)午後10時～10時49分 8月13日(日)午後9時～9時49分
ドキュメンタリー	ETV 特集 語られなかったサイパン ～慰霊の旅 30年の記録～※	<b>E</b> 8月26日(土)午後11時～11時59分
ドラマ	特集ドラマ 軍港の子 よこすかクリーニング1946	<b>G</b> 8月10日(木)午後10時～11時13分
ドラマ	NHK スペシャル アナウンサーたちの戦争※	<b>G</b> 8月14日(月)午後10時～11時29分
ラジオ	終戦から78年 Z世代が伝える戦争のはなし※	8月14日(月)～18日(金) <b>R1</b> 午後7時35分～50分 <b>FM</b> 午後9時30分～45分
デジタル	【NHK 戦争を伝えるミュージアム】 <a href="https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/special/warmuseum/">https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/special/warmuseum/</a>	

※各番組の詳細は別紙参照。この他の番組についても、放送が決まり次第、随時、お知らせします。

## ドキュメンタリー

### ● NHK スペシャル

#### 命沈む海“最期”の記録

～最新技術で挑む マリアナ沖海底調査～※

G

8月5日(土)午後10時～10時49分

太平洋戦争では、軍の艦船だけでなく、膨大な数の民間船や航空機がアメリカ軍によって沈められ、30万もの命が海の底に沈んだままとされる。戦後80年近くが過ぎ、これまでほぼ手付かずだった海における調査や遺骨収集が進もうとしている。遺族の強い求めで国が乗り出した遺骨収集事業に NHK は同行取材。一方、1944年6月、日本海軍が事実上「崩壊」に追い込まれたマリアナ沖海戦があったサイパンやグアムの沖合では、研究者と共に「フォトグラメトリー」と呼ばれる最新技術で海底の船や航空機の残骸を相次ぎ3Dモデル化。この海域で壊滅した日本の航空部隊の姿が明らかに。圧倒的な潜水映像とともに、海の底から「日本の戦争」の実相を描き出す。



### ● NHK スペシャル

#### 原爆 ウラン争奪戦

1938-2023 知られざる攻防※

G

8月6日(日)午後9時～9時49分

世界に1万2千発以上存在する核兵器。ウクライナ侵攻後、世界が核兵器への依存を強める中、その数は再び増加に転じることが懸念されている。その核兵器を製造する上で欠かせないのがウラン。1938年に初めて核分裂が発見されて以来、“核の力”を求める国々はその確保に奔走してきた。そのホットスポットとなってきたのが、アフリカ・コンゴ民主共和国にあるシンコロブエ鉱山。世界で最も高純度のウランが産出された鉱山だ。歴史の出発点は、広島・長崎に投下された原子爆弾の主原料となったこと。今回、その過程を克明に記した膨大な未公開資料が見つかった。

浮かび上がってきたのは、シンコロブエウランを密かにアメリカに持ち込んだある商人の存在が歴史を大きく動かしていた事実。さらに、アメリカがウランを独占したことで、ナチスドイツへの「対抗的防衛」としていた開発目的を、戦後の世界を支配する「最終兵器の開発」へと変えていったことも明らかになってきた。第二次世界大戦以降も、シンコロブエ鉱山は、米ソの原料争奪の現場となったほか、新たに核を持つとするとする国々が接近するなど、核拡散の震源地となっていく。繰り返されてきた“核の力”を求める国家の姿と思惑を描く。

## ● NHK スペシャル

## 発見 昭和天皇御進講メモ

～太平洋戦争 極秘・外務省情報～※

G

8月7日(月)午後10時～10時59分



昭和史を書き換える新資料が発見された。日中戦争から太平洋戦争の時代、12年間にわたって、昭和天皇に国際情勢を進講し続けた宮内省御用掛・松田道一の膨大なメモである。外務省に集まる国際情報を毎週木曜日、509回進講。それが開戦、終戦をめぐる天皇の決断に大きな影響を与えたことが明らかになってきた。

太平洋戦争開戦前、ドイツ軍の進撃に「モスクワ陥落か」と何度も伝え、昭和天皇はドイツの覇権を前提に国際情勢を考えるようになる。それでも、松田はバチカンやスウェーデンなどの中立国情報も報告。天皇はローマ・カトリック教会の影響力に注目、「法王庁の反共主義と平和主義とは我国の国策にも副心」として、1942年バチカンと外交関係を樹立する。しかし、終戦間際、日本はソ連を仲介とした交渉に望みを託し、バチカンによる和平工作が活かされることはなかった。翻刻したご進講メモをAIで分析、第一線の研究者が読み解き、国際情報戦と天皇という新たな視点から戦争を見つめていく。

## ● NHK スペシャル

## 新・ドキュメント太平洋戦争

1943 日米 憎しみの連鎖 前編※

G

8月12日(土)午後10時～10時49分

太平洋戦争当時を生き残った人々が残した日記や手記「エゴドキュメント」をもとに、終戦から80年となる2025年にかけて、戦争の時代の空気を追体験していく大型シリーズの第3弾。1941年の開戦直後、破竹の勢いで太平洋を席卷した日本だが、翌42年、アメリカ軍の攻勢を受けミッドウェー・ガダルカナルで大敗。そして突入した1943年は、戦争への国家的動員がいつそう進み、日米が相互に憎しみを募らせていった年でもある。「総力戦」のかけ声の下、いわば“不要不急”の仕事をしていた市民が徴用され、軍需産業の現場へ。当初「国の役に立てる」と人々は喜んでしたが、不慣れな仕事、物資不足で効率は低下、次第に「国家の怠慢」「失望」の声が漏れるようになる。そうした中、日本社会を揺るがした二つの衝撃的なニュースが。連合艦隊・山本五十六司令長官の戦死と北の前線・アッツ島守備隊の「玉砕」。大本営は敵愾心を煽り、人々は「国家の一大事」「敵を討つ」との意識を高める。そして、中学生から大学生などの若者が戦場に駆り出されることになっていく。



## ● NHK スペシャル

### 新・ドキュメント太平洋戦争

#### 1943 日米 憎しみの連鎖 後編※

G

8月13日(日)午後9時～9時49分

1943年を紐解く後編では、敵への憎しみを掻き立て、凄惨な戦いへと突き進んでいった日本とアメリカの転換点に光をあてる。今回、アメリカ軍の兵士やジャーナリストが綴った膨大な手紙やメモを発掘。「玉砕」覚悟の作戦を仕掛ける日本軍を目の当たりにした兵士は、「最後の一兵が死ぬまで戦う狂気」に直面し、恐怖に囚われていく。一方、日本国内では、＜鬼畜米英＞のスローガンが生み出され、陸海軍は少年兵の応募資格を14歳まで拡大。教師や親に背中を押された中学生は「反対を述べれば、国賊呼ばわりされる」と志願に踏み切った。



南太平洋で激しい攻防を繰り広げた日米両軍は、タラワ島で激突。米海兵隊が撮影した凄惨な戦場の実態は、アメリカの市民に衝撃を与えた。「日本人を一人残らず殺さない限り、戦争は終わらない」日米両国で高まる憎しみの連鎖は、1944年以降、太平洋戦争をさらに凄惨なものへと変えていく。

## ● ETV 特集

### 語られなかったサイパン

#### ～慰霊の旅 30年の記録～※

E

8月26日(土)午後11時～11時59分(予定)

太平洋戦争で日本の民間人を巻き込んだ初の戦場となったサイパン。1944年夏、強大な米軍が上陸、日本軍は玉砕し、サトウキビ栽培で生活を築いていた日本人移民も1万人以上が犠牲になった。その遺族が毎年続けてきた慰霊の旅に長期にわたり同行取材した膨大な証言が残されている。捕虜を出さないために日本兵や身内の手で奪われた幼い命。憎しみを募らせた米兵による民間人への残虐行為。そして、日本の統治や戦争が強いた先住民チャモロや朝鮮人労働者の犠牲。重い記憶を背負った人々を30年以上に渡り取材。遺言とも言える証言から、今まで語られることのなかったサイパン戦の実像に迫る。

## ドラマ

### ● 特集ドラマ

軍港の子 よこすかクリーニング1946 **G** 8月10日(木)午後10時～11時13分

#### 【あらすじ】

戦後の神奈川県横須賀。米軍が駐留しアメリカの意向に振り回される大人たちは、保護すべき子供にかまう余裕はない。自分たちの力だけで生き抜くしかない戦争孤児たちは、米兵の靴磨きやたばこ拾い、時に犯罪に手を染めていた。が、あるきっかけで「クリーニング」の仕事に出会う。犯罪ではなく汗を流して働き、人に感謝されてお金を稼ぐ。自分たちが“生きていても良い”と思える経験によって、孤児たちは笑顔を取り戻し始める。自分たちの稼ぎで「家を借りて暮らす」というささやかな夢を抱くようになった子供たちだったが、さらに過酷な現実襲われることになり…。

【ドラマ出演】小林優仁／高橋 来／村山輝星／原田琥之佑／岡橋亮汰／阿久津慶人ほか

### ● NHK スペシャル

アナウンサーたちの戦争※

**G**

8月14日(月)午後10時～11時29分

太平洋戦争では、日本軍の戦いをもう一つの戦いが支えていた。ラジオ放送による「電波戦」。ナチスのプロパガンダ戦に倣い「声の力」で戦意高揚・国威発揚を図り、偽情報で敵を混乱させた。行ったのは日本放送協会とそのアナウンサーたち。戦時中の彼らの活動を、事実を元にドラマ化して放送と戦争の深い関わりを描く。

国民にとって戦争はラジオの開戦ニュースで始まり玉音放送で終わった。両方に関わったのが天才と呼ばれた和田信賢アナと新進気鋭の館野守男アナ。二人は大本営発表の勝利を力強く伝え国民を熱狂させた。同僚アナも



和田信賢を演じる森田剛さん

南方占領地に開設した放送局に次々と赴任し、現地の日

本化を進めた。やがて戦況が悪化すると、大本営発表を疑問視する和田と「国家の宣伝者」を自認する館野は伝え方をめぐって激しく衝突。出陣学徒を勇ましく送り出す実況を任せられ、ただ苦悩する和田を妻実枝子が叱咤し目覚めさせる。そして館野もインパール作戦の最前線で戦争の現実を自ら知ることになる。

#### 【ドラマ出演】

森田剛(和田信賢)／橋本愛(和田実枝子)／高良健吾(館野守男)／安田顕(米良忠麿)ほか

#### 【作】

倉光泰子

## ラジオ

- 終戦から78年  
Z世代が伝える戦争のはなし※

**R1** 8月14日(月)～18日(金)  
午後7時35分～7時50分

**FM** 8月14日(月)～18日(金)  
午後9時30分～9時45分

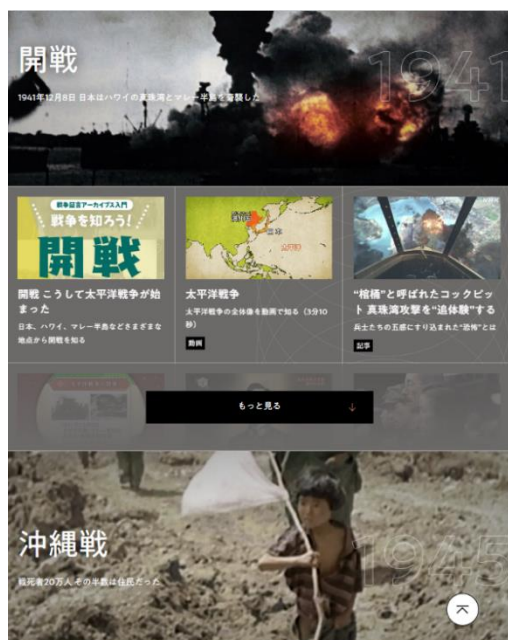
今年2023年は大学生らが徴兵された「学徒出陣」から80年。ロシアによるウクライナ侵攻が続くなか、“デジタルネイティブ”といわれる社会問題への関心が高い Z 世代の若者たちが、新たな視点で日本の戦争を掘り起こし継承しようと奮闘している。

その取り組みはさまざま。AI 技術を用いてカラー化された被爆地・広島の写真から被爆者の記憶を引き出し、世代を超えた対話に取り組む大学生やシベリア抑留の資料を集め、メタバースにバーチャル収容所を作り、アバターで体験できる仕組みを通じて中高生の歴史教育に活用しようと研究を続ける大学院生などの取り組みを5夜連続で紹介する。

## デジタルコンテンツ

### 【NHK 戦争を伝えるミュージアム】

太平洋戦争終戦から80年の2025年にかけて展開しているプロジェクト。若い世代にも関心を持ってもらえるよう工夫したデジタルコンテンツ、そしてNHKが蓄積してきた豊富なアーカイブスを連動させたコンテンツを掲載しています。「太平洋戦争をわかりやすく」と題した解説記事、「NHK for School」の動画や、戦争を体験した人たちの証言、特集記事などをご覧くださいことができます。今後、「市民」「兵士」の目から見た戦争といった特集コンテンツや、記事とも連動したわかりやすい年表の掲載を予定しています。



<https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/special/warmuseum/>  
戦争を伝えるミュージアム 太平洋戦争をわかりやすく | 戦争 | NHK アーカイブス